

80席の親密な空間で

古楽器を聴く

特別なコンサート

アトリエミストラル開館10周年記念シリーズ



いにしえのうた

全3回

2023.

5/14 (日)

14:00 開演

13:30 開場

第1回 天使が奏でる音楽

Early Music for Lute

アトリエミストラル

Program

作者不詳 グリーンスリーブス
ロベール・バラール

天使の踊り
村のブランル

ジョン・ダウランド

涙のパヴァーン

ウィロビー卿のご帰還

ニコラ・ヴァレ

女乞食のファンタジー

村のカリヨン

ジョヴァンニ・ザンボーニ

ソナタ

他



永田 斉子 Seiko NAGATA (リュート)

中世からバロック時代にかけて「天使が奏でる楽器」として数多くの美術作品に描かれているリュート。一六〜一八世紀のイギリス、フランス、オランダ、イタリアのリュートのための作品から、安らぎと多幸感に満ちた響きをお届けします。

■全席自由 一般 3,500円 (当日 4,000円) 高校生以下 2,000円

チケットご予約 ご精算は当日、現金の他PayPay、クレジットカードの利用可

- ・ メール (メールフォームが開きます) ▶
- ・ アトリエミストラルHP ▶
- ・ ☎ 090-8047-3757



■主催・会場 アトリエミストラル

群馬県高崎市下小鳥町312-4 (駐車場有)

【交通のご案内】

高駅西口バスステーション2番乗り場から「浜川経由箕郷(みさと)」行きまたは「伊香保温泉」行きに乗車「上郊口(かみさとぐち)」下車。バスの進行方向に向かって徒歩1分の右側。



「いにしえのうた」開催にあたって

2023年、アトリエミストラルは開館から10周年を迎えます。開館以来、多くの演奏家の方に出演していただき、たくさんの心に残るコンサートを開催してきました。2020年からは新型コロナウイルスによる影響を受け、継続が危ぶまれる不安と焦りの中、アトリエミストラルの存在意義は何か？音楽を生で届けることにどんな意味があるのか？について模索を続けました。アトリエミストラルの最大の特徴である、演奏者とお客様の親密な距離感、かそけき音も一人一人の心に届く上質な響きを持つこの空間が生かせる企画は何かと考えたとき浮かんだのが「古楽器」というキーワードでした。音があふれる現代に生きる私たちが「古楽器」を聴くとき、何を感じるのか？その瞬間をここ、アトリエミストラルで立ち会っていただきたいと思います。

アトリエミストラル 櫻井紀子

プロフィール

永田 斉子 ながた せいこ リュート



長崎県生まれ、東京都在住。国際基督教大学、フランス国立ストラスブール音楽院リュート科を演奏家ディプロムを得て卒業。リュートおよび通奏低音の奏法を今村泰典、B.フィーハン、左近径介、音楽学を金澤正剛の各氏に師事。

ルネサンス～バロック時代のリュート、ギターを時代と様式に応じて使い分けながら、ソリスト、通奏低音奏者として演奏活動を行っている。文学、美術、歴史、天文学など他分野とのコラボレーションも多い。

NHKテレビ番組「迷宮美術館」「ルーブル美術館」NHK-FMに出演。映画「耳をすませば」、「カムイ外伝」に録音で参加。CD「ふらんすの恋歌」「Song Collectors 歌の蒐集家たち」「月琴 MOON LUTE～お龍が奏でた楽器、龍馬が聴いた音楽」などをリリース。

サロンコンサートを企画・運営するルミエールプロジェを主宰し、リュートを中心としたプログラムを親密な空間で聴くというコンセプトで1997年より公演を継続中。演奏される機会の少ない作品に光をあてる地道な活動を行う一方、広くリュートの魅力を発信する活動として朗読音楽会「ロバのおうじ」を連続公演中。朗読+リュートの生演奏+挿絵の投影という独自のスタイルで100回の公演を重ねている。月琴奏者でもある。日本リュート協会、フランスリュート協会、NPO法人日本ルネサンス音楽普及協会、各会員。文化庁芸術家派遣事業登録アーティスト。 公式サイト: <https://www.seikonagata.com>

リュートについて

リュートはアラビアのウード（“木”の意味）という楽器を起源としており、それが12世紀ごろにヨーロッパに伝わり、冠詞Lをつけてリュートと呼ばれるようになった。文化的先進国であった東方から伝来した楽器ということで珍重され、天使が奏でる楽器として数多くの絵画に描かれている。涙の雫型の表面板、丸く膨らんだ胴、後方へ直角に曲がった糸倉に、ウードと共通の特徴が残されている。12～18世紀の約600年間、ヨーロッパ各国の王侯貴族の宮廷で「楽器の王」として活躍した。医学が未発達だった時代にあつて、その甘美な音色と穏やかな響きが憂鬱な心を慰めヒステリーにも効く、などと実用的な効能が記されている。市民革命後は衰退し姿を消していたが、20世紀初頭に復活した。親密な空間で奏でられる静謐なリュート音楽は、現代社会の人々にとって安らぎに満ちた音楽として新たに認識されつつある。



「いにしえのうた」今後の予定

各回共通 14:00開演（13:30開場）



第2回 6/11（日）中村栄宏 / リコーダー

《プログラム》

Jacob van Eyck / 笛の楽園より

林光 / ソナチネ

J. S. Bach / 無伴奏チェロ組曲第一番

吉嶺史晴 / 無伴奏テナーリコーダーのためのララバイ

他

第3回 7/17（月/祝）上村かおり / ヴィオラ・ダ・ガンバ

～音楽的なユーモア Musical humor～

<プログラム調整中>



チケット

各回共通

ご予約

ご精算は当日、現金の他PayPay、クレジットカードの利用可

一般：3,500円（当日：4,000円）

高校生以下：2,000円

・メール（メールフォームが開きます）▶

・アトリエミストラルHPから▶

・☎ 090-8047-3757



主催・会場

アトリエミストラル 群馬県高崎市下小島町312-4

群馬県高崎市にある、旧信用金庫を改装した席数約80のコンサート会場。1905年製ブレイエル3bis及び1930年製西川オルガンを常設し、国内外のさまざまな演奏家を招いてコンサートを企画・主催している。堅牢な造りからくる響きの良さ、個性的なプログラムと質の高い演奏内容が大変好評を博している。2020年秋に導入した共鳴板により、音がよりクリアになり演奏者・聴衆双方から好評である。音楽を身近に楽しめるサロンの役割を担う存在として演奏家・聴衆及び地域に貢献している。スペースレンタルとしても利用可能。

<https://atelier-mistral.jimdofree.com/>

